

おきたま 社会教育情報

Vol. 143 令和4年6月号

令和4年度 置賜社会教育振興会総会・合同研修会 開催!

6月18日(土)米沢市市民文化会館を会場に、令和4年度の置賜社会教育振興会総会・合同研修会を開催しました。総会においては、役員・委員の皆様にご参集いただき、令和3年度事業の報告と令和4年度事業について承認をいただきました。

その後の合同研修会では、NPO法人さいたまユースサポートネット代表 青砥 恭氏

より「子どもの貧困と地域社会～教育と福祉をつなぐ「堀崎モデル」～」と題して講演いただきました。講師と参加者が一堂に会しての開催は3年ぶりとなります。参加者からは「コロナ禍の状況でも貧困は増えていることを知り、今関わっている子どもたちや家族に寄り添い、接していきたいと思いました。今できることを周りの人たちと共に協力していきたいです。」「親の経済力が子どもに大きな影響を与えて、子どもらしく生きることすら出来ない事を悲しく思います。先生の活動が多く広がるよう、行政、地域と連携していきたいと思います。」「小さな力の大切さ、小さな力が集まり大きな力になる事を改めて感じ、地域で支える、そして自立するまで見守る事。みんなが同じ気持ちになれば良いと思いました。関係各所で手を取り合える地域になりたいと思い、その一員でありたいと思いました。」といった多くの感想をいただきました。「子どもの貧困」について現状を知ること、今、自分たちに何が出来るか、地域として何をしていくか等、それぞれが自分事として考えることができ、多くのことを学ばせていただいた研修会となりました。



新型コロナウイルス感染症対策をしながら、このように研修会を行えたこととご協力いただいた皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

山形県社会教育研究大会に向けて

6月10日(金)置賜総合支庁西置賜地域振興局を会場に第13回山形県社会教育研究大会(兼)令和4年度置賜社会教育振興大会実行委員会が開催されました。宇山栄一置賜社会教育振興会長が実行委員長となり、10月21日の開催に向け本格的に準備がスタートしました。

当日は会場地である長井市の伝統芸能、黒獅子舞が披露され、分科会に分かれて社会教育について学習していきます。分科会では長井市の「ながい黒獅子まつりの取組み」と米沢市の「万世コミュニティセンターの取組み」について話題提供していただきます。

地域のよさを見つめ直し、未来を拓く社会教育の在り方について学ぶ貴重な機会です。また、数年に1度、置賜で開催される県の研究大会です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

「放課後」のさらなる充実を目指して ～放課後子ども総合プラン指導者研修会～

6月8日（水）に、長井市コミュニティセンターふらりを会場に、第1回放課後子ども総合プラン指導者研修会を行いました。本研修会は、すべての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験や活動を行うことができるように、放課後子ども教室及び放課後児童クラブ関係者の専門的知識及び技術等の資質向上を図ることを目指して開催されました。

この度の研修会では、「プラバンで作る昆虫グッズ」「ボードゲーム&頭と体の運動遊び」「牛乳パックリサイクル工作」「風船を使って、遊ぼう」の4つの分科会に分かれて、実技研修を行いました。アンケートには、「今まで受けてきた研修会の中で1番楽しかったです。学童に持ち帰って子どもたちと一緒に遊んでみたいと思います。」「工作が苦手なのですが、わかりやすくとても楽しくできました。子どもたちにも教えることができそうです。」などの感想が書かれていました。和やかな雰囲気の中で、参加者の皆さん一人一人がスキルアップを図ることができたようです。

第2回目の研修会は、9月15日（木）にオンラインで開催いたします。内容は、スマイルよこて代表の佐藤マサル氏によるアンガーマネジメントに関する講演会です。多数のご参加をお待ちしております。



プラバンで作る昆虫グッズ



ボードゲーム&頭と体の運動遊び



牛乳パックリサイクル工作



風船を使って、遊ぼう

令和4年度 置賜地区広域スポーツセンター運営委員会

6月9日（木）置賜総合支庁西置賜地域振興局をホスト会場に、令和4年度置賜地区広域スポーツセンター運営委員会をオンライン開催しました。置賜地区広域スポーツセンター運営委員会は、総合型地域スポーツクラブの創設・育成、生涯スポーツ全般の支援を目的として、平成14年に設置されました。（事務局 置賜教育事務所社会教育課）年1回となる9日の会議では、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、スポーツ協会、中学校体育連盟などの各団体の代表の方々や各市町生涯スポーツ主管課長の方々などに参加いただき、前年度の事業報告、今年度の事業計画について協議しました。すべての市町に総合型クラブが創設された今、置賜地区広域スポーツセンターは持続可能な総合型クラブの育成に向けて、他の生涯スポーツ団体と連携を深めながら研修会等を実施していきます。

また今年度は、会議の後段で「置賜地区広域スポーツセンター情報提供会」を開催しました。はじめに県教育庁スポーツ保健課課長補佐 石田 充 氏から「運動部活動の地域移行に関する現状と今後の方向性について」説明をいただきました。その後、参加者の皆様から様々な視点で貴重なご意見をいただきました。運動部活動の地域移行については、令和5年度から段階的に実施し、令和7年度までの3年間に集中して取り組みを進めるよう提言が出されていますが、情報提供会を通して課題が山積であることが浮き彫りになりました。その1つが指導者の確保です。広域スポーツセンターでは指導者不足の解決のため、スポーツ指導者情報提供システム「リーダーバンクやまがた」の充実を目指しています。運動部活動の指導者の候補として登録をご希望の方は、本紙右下に記載の電話番号までぜひお問い合わせください。

なお、YouTubeにて、【県公式】やまがた Channel「山形県における運動部活動改革について」を公開しておりますので、右記QRコードからご覧ください。

動画1 山形県の部活動における現状と課題について

動画2 実践研究の現状・成果・課題について

動画3 山形県の部活動改革のイメージ

今後のスケジュールについて



※本情報紙の本文は、UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体を使用しております。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課Tel. 0238(88)8242】